国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

エイズ治療・研究開発センター

令和５年度　実地研修

募集要項

最終更新日：令和５年７月13日

目次

1.エイズ治療・研究開発センター（ACC）について 1

診療科の特徴 1

薬害エイズとは 1

2.実地研修 2

概要 2

募集要項 2

募集期間 3

前期（9―11 月） 3

後期（12―翌年 2 月） 3

申し込み方法 3

申し込み後について 3

3.受講の流れ 4

4.個人情報の取り扱いおよび著作権について 5

個人情報の取扱い 5

著作権 7

5.よくあるご質問 8

申し込みについて 8

受講について 8

受講後レポートについて 8

単位認定について 9

1.エイズ治療・研究開発センター（ACC）について

エイズ治療・研究開発センターの理念

患者の人権と尊厳を重視した「患者中心」の医療を心がけ、高度かつ最先端の医療を実践します。

1. 多職種からなる医療チームで情報を共有し、安全かつきめ細やかな医療を目指します。
2. 安心・納得して医療を受けられるよう、病状や治療内容についての分かりやすい説明を心がけます。
3. 国内外の最先端医療を積極的に取り入れ、最高レベルの医療の提供を目指します。

エイズ治療・研究開発センター（AIDS Clinical Center，以降、ACC）は、薬害エイズ訴訟の和解をふまえ、被害者救済の一環として平成９年４月１日、国立国際医療センター病院（当時）に設置されました。ACC は外来・病棟・治療開発室・医療情報室の４部門からなり、国内外の HIV 感染症治療・研究機関との連携のもと、HIV 感染症に対する高度かつ最先端の医療提供とともに、新たな診断・治療法開発のための臨床研究・基礎研究を行っています。また、日本における HIV 感染症診療の水準向上を図るために、最先端の医療情報の提供や、医療従事者に対する研修を行っています。

診療科の特徴

医師、外来・病棟看護師、HIV コーディネーターナース、薬剤師、心理療法士、歯科衛生士、ソーシャルワーカー等の多職種によるチームできめ細やかな HIV の包括的な診療を行っています。

また、医療従事者を対象として HIV の基礎から専門まで、レベルに応じて学べる各種研修を定期的に実施しています。

薬害エイズとは

1980 年代初め、血友病などの血液凝固因子異常症の患者が HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の混入されていた輸入非加熱血液凝固因子製剤を投与され、HIV に感染した薬害被害のことです。

当時多くの患者に HIV 感染が告知されていなかったため、妻や子供への二次・三次感染も引き起こしました。日本の薬害エイズ被害患者は 1,433 名、30 年が経過し既に半数が亡くなり、生存者数は 697 名と報告されています（血液凝固異常症全国調査 R4 年度報告書より）。1990 年代はエイズ発症による死亡が多くみられましたが、それ以降、HIV/HCV 重複感染による肝硬変や肝がんの死亡が多い中、近年、生活習慣病の合併、頭蓋内出血例がみられています。

1989 年、東京/大阪 HIV 訴訟原告団と弁護団は、東京と大阪の地方裁判所に旧厚生省と製薬企業 5 社に対し被害の責任を問い提訴し、1996 年３月 29 日に和解が成立しました。ACC は、和解確認書を踏まえて恒久対策の一環として設置され、HIV 感染症の治療や研究とともに医療従事者に対する研修（ACC 研修）を通して、我が国における HIV 感染症の医療水準の向上を目指しています。

2.実地研修

ACC では、HIV 感染者の診療・看護等の実務を担う医療従事者の育成および全国ネットワークの構築を目的として研修を行っています。令和 5 年度は ACC e-learning に加えて、実地研修（専門コース）を実施します。

概要

専門コース（HIVコーディネーターナース）

所定のオンデマンド講義動画をすべてご視聴して講義視聴記録を作成いただいた後、ACCにて実習（3日間）、その後にケースレポートを作成して頂きます。ライブ講義にてその発表と、受講修了レポートを提出することにより修了証を発行いたします。

留意事項

- お申し込みの際に医療従事者であることの確認のため、実地研修申込書(所属施設の施設長からの推薦状兼申込書 別紙 1)をご提出いただきますのでご了承ください。
- 各コースの定員を上回った場合に選考のうえ受講可否を募集期間終了日より約 2 ～ 3 週間程度でご連絡を申し上げます。募集期間外のお申し込みはお受けいたしかねます。

募集要項

概要｜HIV コーディネーターナースの役割を理解し、包括的な患者支援の実践に必要な知識とスキルの習得、院内外の多職種の役割を理解しチーム医療の要として活動できる。

対象｜現在勤務先医療機関等において、主として患者の外来看護に携わる実務担当者であり、研修修了後も継続的に HIV 看護等の実務担当者、指導者として携わる以下の者。

1) ACC e-learning アドバンストコースを受講修了している看護師
※『ACC　e-learning アドバンストコース』とは ACC e-learning において、日本エイズ学会認定 HIV 看護師　及び 日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師:応用レベル研修に相当する研修です。
2) 診療報酬「ウイルス疾患管理料 2」の加算ができる施設（あるいは算定の方針である施設）の施設長が推薦する HIV/AIDS ケア担当看護師（候補者を含む）
3) 研修修了後に患者の療養支援に継続的に関わる者

定員｜前期 2 名/後期 2 名

費用｜無料（実習に係る旅費・宿泊費については、各自でご負担ください。）

期間｜前期（９－１１月）、後期（１２－翌年２月）本コースは応募した期の期間内でオンデマンド動画の視聴、国立国際医療研究センター病院で３日間の　実習、さらに別日程でライブ講義【国立病院機構大阪医療センターHIV 感染症看護師研修（コーディネーターナースコース）の受講生と合同】を行います。

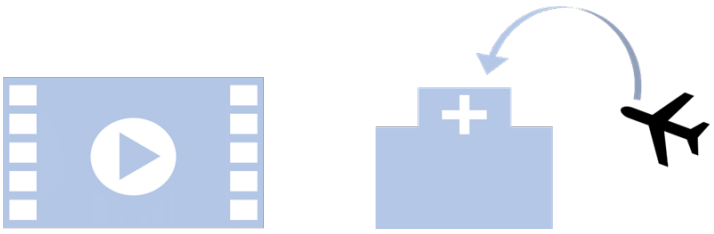
実施会場｜〒162-8655　東京都新宿区戸山１－２１－１

交通アクセス（国立国際医療研究センターHP）：https://www.ncgm.go.jp/access/index.html

取得できる単位｜日本エイズ学会認定 HIV 看護師

日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師　　各コーディネーターナース研修２０点

募集期間



前期（9―11 月）

募集期間：令和 5 年 7 月 24 日～8 月 4 日

後期（12―翌年 2 月）

募集期間：令和 5 年 10 月 16 日～10 月 31 日

申し込み方法

別紙 1『実地研修申込書』を指定期日内に郵送・FAX・メール等で下記宛先に送付

問い合わせ・送付先

〒162-8655

東京都新宿区戸山 1-21-1

国立研究開発法人　国立国際医療研究センター病院　エイズ治療・研究開発センター ACC 研修事務局

TEL：０３－３２０２－７１８１（代表）

FAX：０３－３２０８－４２４４

MAIL： seminar@acc.ncgm.go.jp

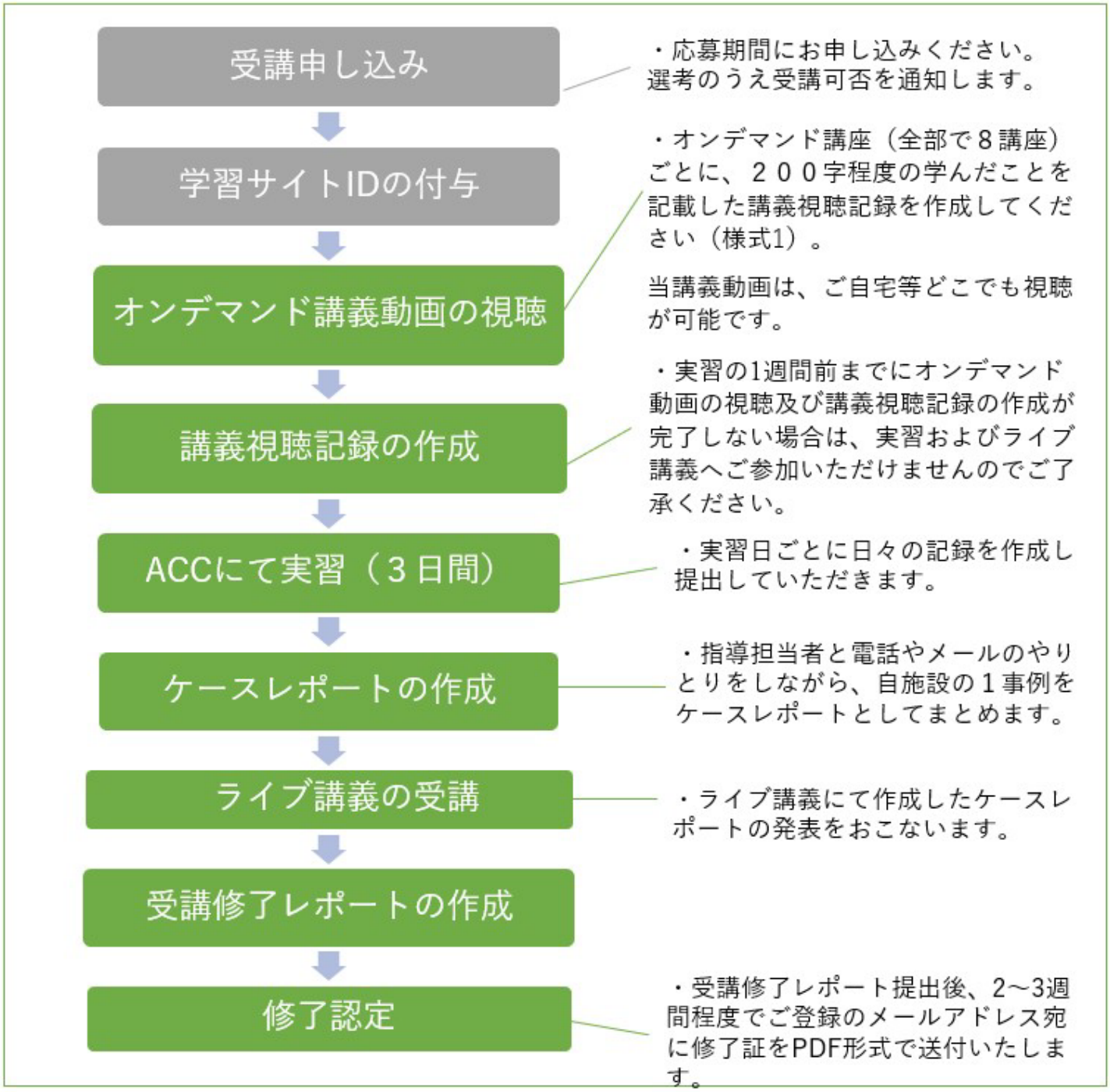
お問い合わせフォーム：https://forms.office.com/r/Ab5xTtAP3L

※　お問い合わせの際は、必ず所属施設名、氏名、連絡先の記載をお願いいたします。

申し込み後について

申し込みが定員を超えた場合つきましては選考のうえ受講の可否をご案内致します。また、受講生につきましては『受講案内』及び『誓約書及び抗体価検査 別紙 2』を所属施設に郵送致します。

3.受講の流れ


受講申し込み
・応募期間にお申し込みください。選考のうえ受講可否を通知します。
学習サイトIDの付与
・オンデマンド講座（全部で８講座）ごとに、２００字程度の学んだことを記載した講義視聴記録を作成してください（様式1）。
オンデマンド講義動画の視聴
当講義動画は、ご自宅等どこでも視聴が可能です。
講義視聴記録の作成
・実習の1週間前までにオンデマンド動画の視聴及び講義視聴記録の作成が完了しない場合は、実習およびライブ講義へご参加いただけませんのでご了承ください。
ACCにて実習（３日間）
・実習日ごとに日々の記録を作成し提出していただきます。
ケースレポートの作成
・指導担当者と電話やメールのやりとりをしながら、自施設の１事例をケースレポートとしてまとめます。
ライブ講義の受講
・ライブ講義にて作成したケースレポートの発表をおこないます。
受講修了レポートの作成
修了認定
・受講修了レポート提出後、2～3週間程度でご登録のメールアドレス宛に修了証をPDF形式で送付いたします。

4.個人情報の取り扱いおよび著作権について

個人情報の取扱い

ACC e-learning サイトの運営（以下、「本サービス」といいます）において、利用者の皆様（以下、「会員」といいます）から提供いただく個人情報の取扱いについて、個人情報の保護に関する法律および関連法令を遵守し、以下規約に基づき適正に対応します。

第１条　個人情報の定義
本サービスにおける個人情報とは、個人に関する情報であり、当該情報に含まれる氏名、生年月日、住所をはじめ電話番号、電子メールアドレスなど個人が保有する番号・記号その他の符号、画像もしくは音声により当該個人と識別できるものとします。当センターでは組み合わせることによって個人が識別できるものも個人情報として取り扱います。

第２条　利用目的
第１項　当センターは、取得した個人情報を以下に定める利用目的の達成に必要な範囲内で利用します。
本サービスの提供および運営のため
HIV 感染者、AIDS 患者への医療提供を目的とし、他の医療機関等との連携を図るため
講座開講や申し込み状況に関するメーリングリスト配信、本規約またはサービス内容の変更など各種ご案内のため会員への本人確認、本人認証のため
お問い合わせへのご対応のため
利用動向の調査、統計、分析のため
新サービス、新機能の開発のため
システムの維持・改善、不具合対応のため

第２項　当センターは、前項の利用目的を、関連性を有すると合理的に認められる範囲内において変更することがあり、変更した場合には会員に通知又は公表します。

第３条　個人情報の第三者提供
当センターは、以下の場合を除き会員の同意を得ずに取得した個人情報を第三者に提供することはありません。
法令に基づく場合
人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、会員の同意を得ることが困難であるとき
公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、会員の同意を得ることが困難であるとき
国の機関もしくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、会員の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

第４条　個人情報の適正な取得と提供の任意性
当センターは、会員本人の同意を得たうえで適正に個人情報を取得します。会員がサービスを利用する上で当センターに提供する個人情報の項目は任意ですが、必要となる項目を提供しない場合、または偽りその他の不正の手段によって個人情報を提供する場合、求めるサービスを受けられないことがあります。

第５条　個人情報の安全管理
当センターは、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などのリスクに対して、個人情報の安全管理が図られるよう、当センターの職員に対し、必要かつ適切な教育・管理・監督を行います。また、当センターは、個人情報の取扱いの全部又は一部を委託する場合は、委託先において個人情報の安全管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行います。但し、本サービスを利用するにあたって取得して頂くアカウント、パスワードの管理は、利用規約に従って、会員の自己責任で管理して頂くものとします。

第６条　個人情報の開示
当センターは本サービスの運営に関し、会員から、個人情報保護法の定めに基づき個人情報の開示を求められたときは、会員ご本人からのご請求であることを確認の上で、会員に対し、遅滞なく開示を行います（当該個人情報が存在しないときにはその旨を通知いたします。）。但し、個人情報保護法その他の法令により、当センターが開示の義務を負わない場合は、この限りではありません。

第７条　個人情報の利用停止等
当センターは、会員から、会員の個人情報が、あらかじめ公表された利用目的の範囲を超えて取り扱われているという理由又は偽りその他不正の手段により取得されたものであるという理由により、個人情報保護法の定めに基づきその利用の停止又は消去（以下、「利用停止等」）を求められた場合において、そのご請求に理由があることが判明した場合には、会員ご本人からのご請求であることを確認の上で、遅滞なく個人情報の利用停止等を行い、その旨を会員に通知します。但し、個人情報保護法その他の法令により、当センターが利用停止等の義務を負わない場合は、この限りではありません。

第８条　Cookie（クッキー）その他の技術の利用
本サービスではウェブサイト閲覧動向等の情報を収集・分析し、それらの結果を元にサイトコンテンツの向上を図ることを目的に Cookie 及びこれに類する技術を使用していますが、これらにより収集されたデータは個人を特定できるものではなく、プライバシーを侵害することはありません。また、Cookie はご自身で無効にする設定を行う事が可能です。無効化を設定した場合の利用者の損害等について、本サービスおよび当センターは一切の責任を負うものではありません。

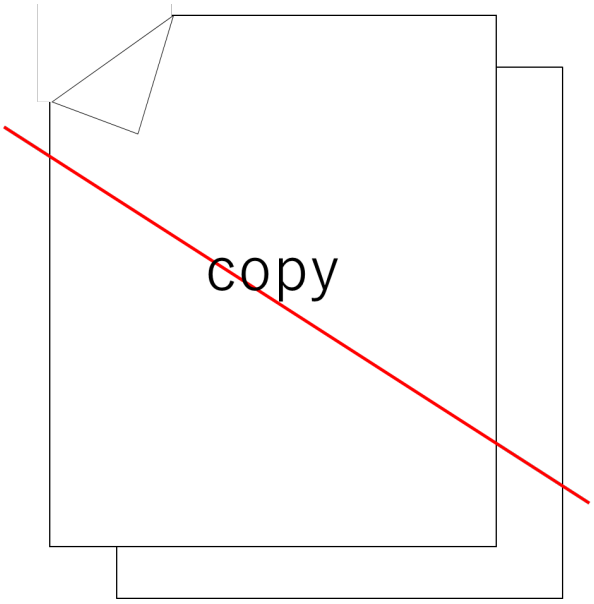
第９条　セキュリティに関して
会員の情報は会員のプライバシー保護及び、セキュリティの為パスワードで保護されています。当センターは第三者によるデータ転送から個人情報等を保護する為、業界標準の SSL 暗号を使用します。

第１０条　利用規約の改正について
当センターは個人情報の取扱いに関する運用状況を適宜見直し、継続的な改善に努めるものとし、利用規約の一部または全部を改定する場合がございます。重要な変更がある場合には、サイト上でお知らせします。

第１１条　本サービスの利用および個人情報の取り扱いに関する問合せ
本サービスの利用および運営上の個人情報の取り扱いに関するご意見・お問合せ等がございましたら、研修事務局までお問い合わせください。

著作権

サイト内のコンテンツ（文章・資料・画像・音声等）は、特に記載のない限り国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センターまたは第三者が保有します。営利・非営利を問わず、内容を許可なく複製、転載、販売などに二次利用することを禁じます。



5.よくあるご質問

申し込みについて

- 申し込みから受講開始までの期間を教えてください。
  ＞　募集期間終了後より選考を行いますので、募集期間終了後より約２～３週間程度で受講開始予定です。
- ACC e-learning になる以前の対面研修で基礎コースを受講しました。専門コースの受講はできますか？
  ＞　過去に対面研修をご受講済みであった場合でも、専門コースのご受講はお受けいたしかねます。HIV 感染症の治療は日々変化しており、講義内容も随時見直しを行っています。大変恐縮ではございますが、ACC e-learning の修了認定（総合）の受講をご検討ください。

受講について

- 受講に係る費用は無料ですか？
  ＞　無料で受講いただけます。途中でコース受講を中断した場合もキャンセル料は発生いたしません。ただし、オンデマンド動画の視聴やライブ講義への参加にかかる通信料は受講生へご負担いただきます。
- ケースレポートはどのようなものですか？
  ＞　ACC にて実習（３日間）に参加後、ご自身の所属施設の事例を挙げて作成します。ケースレポートは、指導担当者とメールおよび電話にて進捗状況等を共有し作成します。
- ライブ講義はどのようなものですか？
  ＞　オンライン（teams を使用予定）で自宅等よりご参加ください。国立病院機構大阪医療センターHIV 感染症看護師研修（コーディネーターナースコース）と合同で実施します。実習後に作成したケースレポートの発表、アクションプラン立案などを行います。
- ライブ講義に参加できません。どうしたらいいですか？
  ＞　専門コースは、オンデマンド講義動画視聴から実習、ライブ講義の受講の一連の流れをすべて修了した方について修了認定をします。一部不参加（不視聴）の場合には、修了認定はいたしかねます。やむを得ない事情により急遽参加予定のライブ講義へ参加ができない場合には、なるべく早く ACC 研修事務局へご相談ください。

受講後レポートについて

- レポートとは具体的にどのようなものですか？文字数指定はありますか？
  ＞　ライブ講義終了後、ライブ講義に対するご意見および専門コース（HIV コーディネーターナース）全体に対するご意見を頂戴しています。

単位認定について

- 単位申請に関するお問い合わせはどこにしたらいいですか？

  ＞　ACC e-learning 受講後の単位申請に関するご質問は、申請先である学会へお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。また、学会への単位申請はご自身での申請をお願いいたします。

コース名	専門コース(HIVコーディネーターナース)	対象	アドバンスト研修修了に該当する研修者
公開時期	令和５年7月	総講義時間	オンデマンド7時間30分＋実地研修3日間
定員数	前期2名 ／後期2名		
講義形式	オンデマンド動画視聴／実地研修／レポート／ライブ講義		

修了認定要件

オンデマンド動画視聴と実習を行い、レポート発表と提出をもって修了認定とする。

各団体　認定単位数

日本エイズ学会認定HIV看護師・日本エイズ学会認定HIV感染症指導看護師　各コーディネーターナース研修20点

講義の概要とねらい

HIV感染症看護の専門的な講義と外来や病棟での実習を行い、ケースレポート作成と発表の構成とする。HIV-CNの役割を理解し、包括的な患者支援の実践に必要な知識とスキルの習得、院内外の多職種の役割を理解しチーム医療の要として活動できる。

到達目標

・倫理的または複雑な課題に対して情報を適切に収集し、包括的な視点でアセスメントできる。

・患者ニーズとHIV感染症患者の特徴を踏まえ、患者や家族等支援者、院内外の多職種連携による効果をアセスメントできる。

プログラム

①　オンデマンド動画視聴

（講義動画名）	（講師）	（時間）
HIV診療・看護体制	池田	1:00:00
HIV-CNの役割と活動	池田	1:00:00
薬害HIV感染者の支援　Ⅰ	大金	1:00:00
薬害HIV感染者の支援　Ⅱ	大金	1:00:00
HIV看護専門　療養支援Ⅰ　患者教育	東(NHO大阪)	0:50:00
HIV看護専門　療養支援Ⅱ　服薬支援	東(NHO大阪)	0:50:00
HIV看護専門　療養支援Ⅲ　サポート形成支援	杉野	0:50:00
HIV看護専療養支援Ⅳ	杉野／東	1:00:00
(計８講義)	（合計）	7:30:00

②　実地研修

実習3日間（HIV-CN活動見学、各種カンファレンス参加（外来・入院・多職種））　3日間

③　レポート

実習日は、活動記録(様式1)を500字以内で記載し翌日指導者へ提出する。

ケースレポート(様式2)に自施設の1事例をまとめ、報告する。

ケースレポート作成指導(電話・メール等)　指導担当／調整職　1:30:00

④　ライブ講義

ケースレポート発表・評価表(様式3)記入、アクションプラン立案(最終日 ライブ1日)　1:30:00

実施スケジュール

①　オンデマンド動画視聴

参加するライブ講義日程の約１週間前の指定期日までにコース内のすべての動画を視聴すること

②　ライブ講義

【前期】　９月-11月の指定する1日

【後期】　12月-翌年2月の指定する1日

③　レポート

ライブ講義より約１週間前の指定期日までに専用フォームよりレポートを入力し、送信すること

備考
研修の流れについて ①オンデマンド動画を視聴②研修先にて実習③自施設のケースレポート作成 ④ライブ講義にてケースレポート報告とアクションプランを発表し修了。研修期間は原則開始から3ヶ月以内とする。

最終更新日	令和5年6月30日	管理コード	

様式 1

令和 5 年度　ACC 実地研修（専門コース）
講義視聴記録

施設名
氏名

・全部で 8 講座あります。
・講座名に　〇をつけてください。

1. HIV 診療・看護体制	2. HIV-CN の役割と活動
3. 薬害 HIV 感染者の支援　I	4. 薬害 HIV 感染者の支援　II
5. 療養支援　I	6. 療養支援　II
7. 療養支援　III	8. 療養支援　IV

・1 講座視聴ごとに、200 字くらいで学んだことなど　記載してください。
・本様式を複写して使用してください。

様式 2

実習記録（　日目）　　年　　月　　日

場面	CN 活動内容と学び
（例）服薬開始時の面談	・初回抗 HIV 療法開始する患者に対して診察や薬剤師からの指導内容の理解や服薬開始･継続できることをアセスメントとしていた。多職種との連携で、薬剤師との関わり方の違いを知ることができた。
（例） ・カンファレンス参加 ・電話対応	
実習を通して学んだこと	
指導者からのコメント	

様式 3

令和 5 年度　ACC 実地研修（専門コース）
受講修了レポート

施設名
氏名